

今年度の傾向

- 事故報告件数は、年々増加傾向にある。（参考：R5年度131件）
- 感染症、死亡事故件数は、減少傾向。
- 例年と同様に、入所系サービスにおける事故報告が大半を占めている。
- 介護度別発生件数では、要介護3, 4のケースが増加傾向にある。

死亡事例について

- 死亡件数: 3件
 - ✓ 転倒により後頭部の腫脹を確認。翌日、意識不鮮明等の症状があり、救急搬送。急性硬膜下血腫の診断。2か月後に死亡。
 - ✓ 夜間帯に希死念慮の訴えと不穏症状あり。入眠を確認した2時間後、居室にいないことが発覚し、搜索したところ施設外の車道に横たわっている状態で発見される。その後、死亡が確認された。
 - ✓ 感染症対策のため自室で夕食を摂取していたところ、窒息状態となっているのを発見される。心肺蘇生行い、救急搬送後死亡確認。

全体をとおして

- 毎年、数件のケースにおいて、長期的に家族関係者とのやりとりを行っている状況が報告されている。緊急性のある場合における速やかな連絡や、家族関係者だけでなく、スタッフ間や他事業所との情報共有を適切に行うこと正確な記録を残していくことが重要と考えられる。